

# 挑戦

大宮小&済美小&大宮中 夢のタスキを9年間つなぎます!

## なでしこ

『なでしこの 色鮮やかに 明るく強く 優しい心で 毎日挑戦』

東京都杉並区立大宮中学校 学校だより

平成31年4月11日 第1号(18-12)

発行責任者: 校長 関田 誠

### 4/9(火)入学式校長式辞(抄録)

### 『YUSEI ノート』の話

(前略)最初をお願いしたい挑戦は、『夢や目標を語ること』。何だ簡単じゃないと思いませんか?それとも難しい挑戦ですか?私達は夢や目標があるから、張りのある毎日を過ごせます。私は皆さんの今日からの三年間を、漠然と過ごして欲しくありません。そのために、この四月から、大宮中生の夢を乗せる『DO ノート~Dream of Otchu~』を始めます。突然ですが、新入生の皆さんに質問です。三択クイズです。問題。『私達は、毎日の生活で、習慣で繰り返している行動は、何%くらいあるか?』。例えば一日の朝の15分。皆さんは朝起きるのは、自分で目覚ましですか?親に優しく、あるいは怒鳴られて?まさか掛け布団をはがされたり?起きてから次の行動はトイレですか?洗顔ですか?着替えの靴下は、右足から左足からでしょうか?一日の行動を100として、習慣で動くのは、30、50、80%のどれか。そうだと思う答えに手を挙げてください。はい、80%以上が正解ですね。多くの人は、実は一日の行動の90%は、無意識に身に付けた習慣で考えずに動いていると言われています。これを『人は習慣の奴隷から逃れられない』と言った人がいます。皆さんのこれからの三年間を想像してください。もしも、自分が三年間、悪い習慣の奴隷になったら…。ソツとしませんか?習慣について、こんな風に言う人もいます。『良い習慣は才能を越える!』。このDO ノートは、皆さんが悪い習慣を捨てて、良い習慣を身に付けるために取り組みます。さらに、自分より才能はありそうだけれど毎日ボーッと生きている、つまり『チコちゃんに怒られる』状態の人を、追い越しちゃうための必勝の道具なのです。



さて、今年メジャーリーグに菊池雄星選手が入団しましたね。菊池選手が『YUSEI ノート』と言われる日記を書いているのは知っていますか?小学生の頃、イチロー選手の試合を生観戦して、(野球を上手になりたい!)という夢を抱き、中学二年生からYUSEI ノートを始めます。高校二年の時には、メジャーリーグで活躍するという夢を描きます。ノート始めて14年後の今年、夢が実現します。ノートには、その時々夢を追いかける、具体的な計画、行動、結果の気付きが記されます。雄星選手がこの場にはいないから小さな声で言いますが、実は当時のノートの写真を見ると、お世辞にもきれいな字ではありません。でも自分の思いを込めて、毎日5分、10分とノートに向き合っています。私が思うに、同年代で全国には菊池選手と同等かそれ以上の才能をもった野球少年は、少なくなかったはず。彼がそういう人を、スツと追い抜いたのは、『良い習慣が才能を越えた』実践の積み重ねだと思いませんか?ですから、まず今日、教室で配られる『DO ノート』、C組は『連絡ノート』を開いて、家で机に向かってください。そして、今日入学した新鮮な気持ちを書きましょう。さらに、自分が春休みに考えていた、追いかけていた夢や目標を書き出してみましょ。皆さんが小学校の卒業式の壇上で大きな声で唱えた、あの気持ちで良いのです。四月から始まる学習、部活動、習い事の目標もあるでしょう。今日のこの宿題を、大宮中生になった最初の挑戦とします。そして私は皆さんに約束します。まずは一年間DO ノートが続けることができたなら、皆さんが大きな成長を得ることを。難しいのは気持ちがフレッシュな今だけで終わらせず、コツコツ続けることです。

さあ、まとめます。大宮中生は、『悪い習慣の奴隷にならない』、『良い習慣は才能を越える』。これを信じて三年間書き続ける。ぜひ、今日巡り逢った仲間、先輩、先生方と一緒に、楽しく励まし合って、充実した中学校生活にしていましょ。(後略) 😊

## 第 73 回 入学式

爽やかな春の青空の下、47 名の新入生を迎えて、地域の来賓のご臨席を賜る中、入学式を挙行いたしました。2・3年生は歓迎の歌と校歌で、体育館の空間を温かい雰囲気でもたし、式を盛り上げてくれました。

新 1 年生は、大宮中の美しい校歌を覚えた時に、名実ともに大宮中生になります。

### 新入生 誓いの言葉 山科隆斗

(前略) これから中学校生活を送るにあたり、ぼくの四つの目標を誓いの言葉として話したいと思います。

**一 努力する** 中学校で習う勉強、部活動、委員の仕事、何事にも、一生懸命にしっかり努力します。ぼくは、バスケットボール部に入部して、部活動に力を入れつつ、勉強とも両立して行きたいと思っています。

**二 協力する** 新しい環境の中で困難なことがあっても、友達と助け合い乗り越えられるような信頼関係を築きます。大宮中学校には、他の小学校から来る生徒もたくさんいるので、積極的に話しかけます。また、友達の考えていることを理解して、仲良くしていきたいです。

**三 規則や約束を守る**決められた規則、時間や期限などの約束をきちんと守って大宮中学校にふさわしい生徒になることを目指します。

**四 楽しむ** 授業や部活動、学校での全ての行事において新しい仲間と共に全力で楽しみます。

最後になりますが、校長先生をはじめ先生方、主事の方々、地域の皆様、上級生の皆さん、僕たち新入生は一生懸命協力して、努力します。これからよろしくお願い致します。

### 在校生歓迎の言葉 杉永 遼

(前略)

さて、中学校では、小学校生活にはなかったことが四つあります。一つ目は、部活動です。運動部と文化部があり、部活動紹介や仮入部を体験し、自分の希望する部活動に入部します。部活動は試合やコンクールに向けて活動しますが、初心者でも顧問の先生や先輩が優しく教えてく

ださるので、基礎からきちんと身に付けることができます。

二つ目は、小学校には無い教科が増えることです。小学校での算数が数学に、図工が無くなり美術と技術になります。そして体育の授業では、ダンスや柔道などが新しく加わります。

三つ目は、定期考査というテストが始まることです。定期考査には、中間考査と期末考査があります。初めは自分に合った勉強方法が分からないかもしれませんが、一回一回の授業の要点をまとめたり、苦手な部分を何度も解いたり積極的に取り組めば心配する必要はありません。

四つ目は、行事が増えることです。運動会他に、合唱コンクールやスキー教室、職場体験、校外学習などがあります。運動会と合唱コンクールは全学年が行う行事なので、先生方と生徒たちが一体となり、準備や練習をします。運動会ではそれぞれの学年の競技とともに全学年で行う競技もあるため、全校生徒の一体感が生まれます。合唱コンクールでは、クラス全員で力を合わせ、一つの歌を作り上げます。練習もクラスでおこなうため、クラスの団結が強くなります。

このように中学校は小学校にはなかったことがたくさんあります。慣れない事や分からない事も多いと思いますが、そんな時は私たち二、三年生に気軽に声をかけてください。そして、私たちと一緒によりよい大宮中学校を作っていきましょう。



## 始業式 式辞

# 『今年度はこんなことを 変えます！』

(前略)今年度、変更点は大きく6つあります。

一つ目は、**道徳が教科書を使った教科の授業になります。**時には議論したり考える道徳の授業を目指しています。通知表には記述による評価も入ります。

二つ目は**モジュール授業が始まります。**朝の読書を止めて10分間をモジュール授業という、5教科(国・社・数・理・英)を年間計画に沿って、課題に取り組む授業を行います。例えば英語でリスニング練習、他の教科でプリントやワーク学習もあります。授業の延長ですから、評価の対象にもなりますので、読書や宿題をする時間ではなくなります。名称は『ZERO 校時・ZERO』と呼んでください。

三つ目は、**一学期の中間考査を廃止しました。**年間四回になる定期考査期間中は、給食がなくなり、皆さんは素早く帰宅することになります。一学期中間考査を無くした理由は、例年GWがある関係で、授業が少なく試験範囲がうまくとれないためです。代わりに日常の授業を中心とした活動で、きめ細かく各教科で評価をしていきます。また、皆さんには『テストがあるから仕方なく勉強する』という姿勢があったら再検討してほしい。一学期は6月半ばまで定期考査はありません。日常の家庭学習をコツコツ、授業の復習や予習をおこなう習慣も手に入れて欲しいのです。(だから、次のDOノート！)

四つ目は、**連絡・生活ノートを『DOノート』に変更します。**皆さんの夢や目標を実現するこ

とを強力にアシストするお助けツールです。一日一日、あるいは一週間の計画や実施の振り返りができるノートです。ぜひ、勉強、定期考査の取り組み、進路選択、英検や漢検等の検定、部活動、習い事などの成功に向けて活用してみてください。

五つ目は、**放課後学習『なでしこ塾』『英語の広場、改めOtchu(おちゅう)World』をリニューアルします。**内容については、充実して参加しやすい形を考えています。数学・英語を中心に、外部指導員に授業の補習・発展学習や英検対策をやっていただきます。定期考査前だけでなく、気楽に予定して積極的に参加してく

ださい。なお、毎月職員会議や研修会で部活再登校になる日がありますが、この日にも『なでしこ塾』を開設することを試行します。帰るのが面倒だから参加するとか、再登校しないですむための居場所ではありません。試行の意味は、

落ち着いた学びの場だと考えてください。

六つ目は、**給食時間を5分増やして、25分間を30分間に増やしました。**

昨年度までの準備、食事、片付けで、25分間は厳しいとの判断です。残食ゼロを目指して、時間いっぱいモリモリ食べて大きくパワーアップしてください。(後略)

※上記に加えて、**特別支援教室『学びの教室』を金曜日に新設**します。学習支援を必要とする生徒が、区内の通級学級以外に、巡回指導員が本校に来校して、校内で学習支援を受けられるようになります。また、**一学期の期末保護者会**を止めて、三者面談に一本化します。中学校での働き方改革を推進する観点からも、保護者・地域の皆様のご理解をお願いいたします



